

# 7 農業農村整備事業関係予算の確保について

【農林水産省】

## 《提案・要望事項》

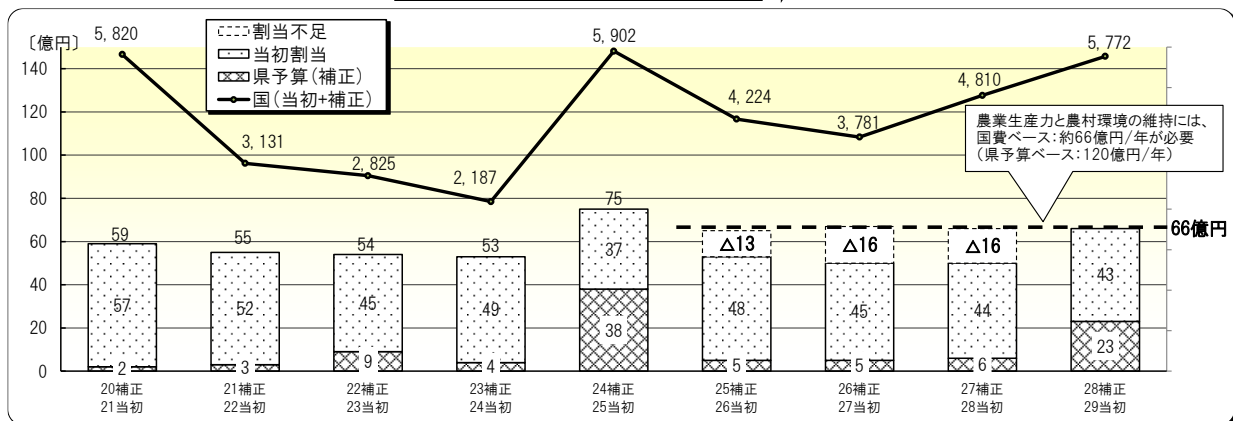
農業の競争力強化や農村地域の活性化を図るため、国において農業農村整備事業関係予算を十分に確保すること。特に、次の事項に取り組むこと。

- 1 地域の担い手が取り組む農業経営の規模拡大や高収益作物の導入など、農業の競争力強化に資する事業の十分な予算を確保すること。
- 2 中山間地における農業・農村振興対策については、地域の特色を活かした多様な取組を進めるために必要な予算を十分に確保すること。  
また、「中山間地農業ルネッサンス事業」の補助金採択に当たっては、計画に沿って確実に事業を実施できるよう配慮すること。
- 3 農業の生産現場や農村の生活環境の強化、防災力の向上を実現するため、農業生産基盤や農村生活環境基盤の総合的な整備に必要な予算を十分に確保すること。

## 【長野県の現況・課題】

### 国と長野県の予算推移

⇒ 県の必要額を満たすには国予算の増額が必要



## 1 農業の競争力強化

⇒ 生産コストの低減や高収益作物の生産に必要な基盤整備に活用

### 徹底的な米の生産コスト低減 (安曇野市)

ほ場整備により水田の区画を拡大し、担い手への農地集積、自動水位管理装置の導入、ラジコンヘリによる薬剤散布等により**大幅にコスト低減**。

担い手 A : 推定 **730 万円**の所得増

[ 集積 11ha⇒21ha、コスト低減 11,584 円⇒8,962 円/10a ]



## 2 中山間地域対策

⇒ 地域の強みを見出し多様な取組を展開する担い手の支援に活用

### 高品質ぶどうの生産団地の拡大 (生坂村)

村では新規就農者を積極的に受入れ。基盤整備した農地で**粗収益が1千万円**を超える若手農業者も出現。

若手農業者からは**農地が足りない**という切実な声。

[ 「第4回 ディスカバー農山漁村(むら)の宝」 優良事例に選定 ]



## 3 農業生産基盤や農村生活環境の強化

⇒ 農業水利施設や農業集落排水施設の長寿命化対策、防災減災対策、農業生産基盤や農村生活基盤の総合的な整備等に活用

### 持続的な農業・施設管理の実現 (伊那市)

農業水利施設の更新を契機に**農業生産法人が設立**され**地域農業を守り継ぐ**体制づくりが促進。

また、小水力発電の導入により**施設の維持管理負担が大幅に軽減**。

[ 年間 2,000 万円以上の収益を水利施設の維持管理費に充当 ]

【法人による営農風景】



【参考】 ～ 長野県では、農業農村整備事業でこんなにも効果が出ています～

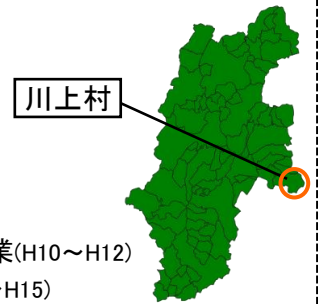
## 産地形成とブランド化を通じたレタスで稼ぐ産地づくり（川上村の事例）

### 【工夫のポイント】

- 安定した用水供給により、高値で取引される規格割合の増加（レタスの2LやL16）など、**高品質な農作物生産**を実現し、営農の安定化に貢献。
- **市況を把握し速やかに情報共有を図るシステムで最適な市場出荷体制を整備**。**積極的なPR活動**など、村をあげた体制構築によって、日本屈指の生産地形成や**ブランド確立に成功**。

### 【長野県川上村の概要】

- 地域 振興山村、急傾斜地帯
- 主要作物 レタス、はくさい、キャベツ
- 主な支援施策(国庫補助事業)
  - ・ 県営開拓パイロット事業(S40～S43)
  - ・ 県営農地開発事業(S47～H5)
  - ・ 田園地域マルチメディアモデル整備事業(H10～H12)
  - ・ ふるさと農道緊急整備事業(H8～H15)
  - ・ 畑地帯総合整備事業(H6～H28)



### 基盤

#### 畑地かんがいによる営農の安定化と高品質な農産物の生産

川上村のほぼ全域(村内農地の約8割)で畑地かんがい施設を整備することで、**安定的な用水供給**と**効率的な営農**が可能となった。これにより、急速にレタスの栽培面積が拡大。



基盤整備  
(S40年～H28年)

#### 【整備前】

畑地かんがい施設が未整備で、天候の影響を受けやすく、**生産量や品質が不安定**であった。

また、排水路や農道が未整備であったため、**冠水被害や集出荷時の荷痛み**に悩まされていた。



### 生産現場

#### 朝採れ野菜を新鮮な状態で市場に輸送

- 夏場でも冷涼な気候を活かし市場のシェアを獲得。更に真空予冷施設で素早く冷却し、保冷庫に入れて**温度管理を徹底**することで、早朝に収穫したレタスを**鮮度を保持したまま市場に輸送**。



### 加工・流通

#### 情報ネットワークの整備や輸出の取組 農産物のPRによるブランド確立

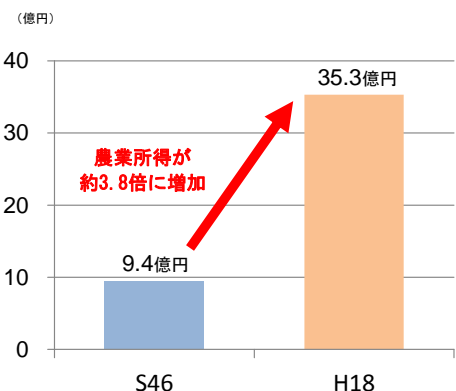


- 東京、名古屋、大阪など大型消費地の中間地点という立地条件を活かし、**市況情報を各農家と共有し、最適な市場へ出荷できる体制**を整備（JAが市況情報をデータベース化し、リアルタイムで配信）。
- 台湾や香港への**独自の輸出ルートを開拓**。海外にも農産物を販売。
- プロ野球やサッカーの試合会場での農産物配布や、テレビ局への企画の持込、各地での物産展の開催など、**広くPR活動を実施**。

#### 日本屈指のレタス産地に発展

- **村をあげた、生産・出荷・流通体制の構築**により、日本屈指のレタス産地に発展。川上村の**農家の約半数は、経営耕地規模が3ha以上**と、経営規模は拡大しており、後継者も育っている。
- 近年では、**1戸平均の販売額が2,500万円を超える**など、収益性の高い農業が展開されている。

#### 川上村における農業所得の変化



【出典：農林業市町村別統計書、市町村別推計統計表】